

科名 外科 外—56(b)

対象疾患 大腸癌(治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌)

プロトコール名 BEV+XELOX(アロカリス併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩水	500mL	ラインキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	グラニセロンバッグ	1mg	30分かけて	↓				
			アロカリス	235mg						
			デキサート注	4.95mg						
			ファモチジン注	20mg						
			ネオレスタール	10mg						
			又は							
3	点滴注	側管	パロノセロンバッグ	0.75mg	30分かけて					
			アロカリス	235mg						
			デキサート	4.95mg						
			ファモチジン注	20mg						
			ネオレスタール	10mg						
4	点滴注	側管	ベバシズマブ注	7.5mg/Kg	医師の指示 通り	↓				
			生理食塩水	100mL						
5	点滴注	側管	オキサリプラチン注	130mg/m ²	2時間かけて	↓				
			5%ブドウ糖液	500mL	ルートごと変更					

内服 ゼロダ 1回1000mg/m²を1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2-4にデカドロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

- ・ オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖液で希釈。(薬効がおちる。)
- ・ オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)
- ・ デキサートは6.6、9.9、13.2、19.8mgで選択可。
- ・ ベバシズマブは生食で希釈。(薬効が落ちる)
- ・ ベバシズマブは初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で行ってもよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。